

平成27年2月 第1委員会報告資料

ウォーターフロント地区（中央ふ頭・博多ふ頭）
計画提案公募の実施について

総務企画局

1. これまでの取組み

ウォーターフロント地区の再整備については、平成26年9月に再整備にあたっての基本的な考え方である「ウォーターフロント地区（中央ふ頭・博多ふ頭）再整備の方向性」（以下、WF地区再整備の方向性）を取りまとめたところであり、このなかで位置づけている短期的な取組みとして、MICE機能の強化や賑わいの創出を図るため、MICE・賑わいゾーンの検討を進めています。

2. 計画提案公募について（案）

（1）目的

今回、実施する「計画提案公募」は、「WF地区再整備の方向性」等を基本として、今後、福岡市において取りまとめを予定している「WF地区再整備計画」[※]やその後の事業者公募の条件等の参考とするため、WF地区での事業実施に関心がある民間事業者から、将来像や土地利用計画等について、独創的かつ実現性のある提案を求めるものです。

提案を基に、民間事業者と対話を実施し、魅力的かつより実現可能性の高いWF地区再整備計画を策定したうえで、平成28年度以降に事業者公募を行う予定にしています。

※WF地区再整備計画とは、「WF地区再整備の方向性」に基づき、将来像や土地利用計画、導入機能・施設構成、交通・回遊ネットワーク、景観に関することなどを取りまとめるもの。

（2）提案を求める内容・範囲

1) WF地区全体に関すること

- ①土地利用ゾーニング、導入機能や施設の内容
- ②公共的空間の概ねの配置
- ③景観形成、空間づくりに関する考え方 など

2) 短期事業化区域に関すること

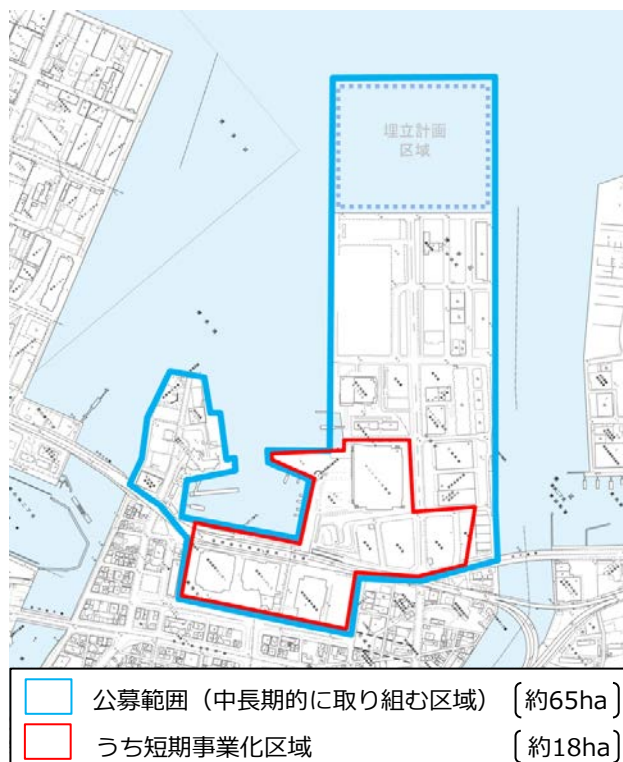
- ①導入機能や施設の内容及び規模
- ②施設配置計画
- ③交通、歩行者回遊ネットワーク
- ④景観・緑の創出
- ⑤事業性に関すること
- ⑥事業スケジュール など

※短期事業化区域以外でも提案可能

3) その他

- ①地区の管理運営 など

本公募で提案を求める範囲



（3）主な前提条件

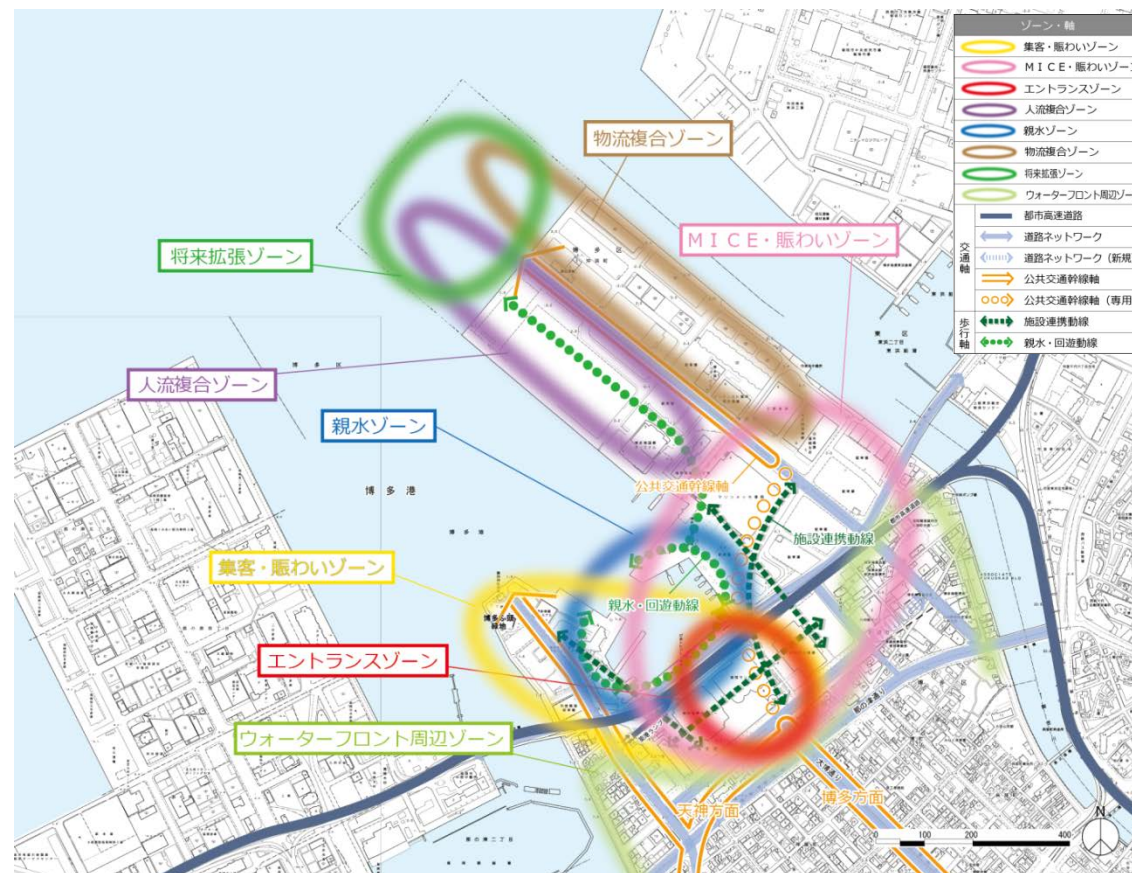
1) WF地区全体

「WF地区再整備の方向性」等の内容をふまえた提案とする

～「WF地区再整備の方向性」における基本的な考え方（抜粋）～

- 天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区に次ぐ、都心部の新たな拠点として、福岡市の成長エンジンとなる都心部の国際競争力の強化を図ります。
- 民間活力やノウハウを積極的に活用しながら、MICE機能と港湾機能が近接した地区の強みを生かした一体的な再整備を行います。
- 市民をはじめ国内外からの来街者が海に出て楽しめるよう、水辺を生かしたシンボリックな空間や賑わいが連続した憩いと潤いのある空間の創出など、福岡の顔となる都心部の新たな拠点をめざします。

◇「再整備の方向性」の全体イメージ



(3) 主な前提条件

2) 短期事業化区域

短期事業化区域に必要な導入機能等は、以下のとおりとする。

主な導入機能等	各施設の計画の考え方や要件	
第2期展示場	・展示面積は約5,000㎡、位置はマリンメッセ福岡の南側の位置	
ホール (更新を検討する機能)	・席数は約2,500~3,000席（うち、固定席は2,300~2,500席）程度 ・国際会議等における式典やコンサート（ポップス系）などに対応 ・既存ホールを運営しながら建設可能な位置	
ホテル	・VIP向けの部屋を含む客室数250~300室程度の規模で、宴会場や会議室を備えたホテル 但し、規模等については自由な提案も可能	
集客・賑わい施設	・MICE参加者の利便性の向上、市民が日常的に訪れるような魅力的な地区となることや回遊性向上の効果等が期待される海辺を活かした施設の提案	
駐車場	公共施設 需要分	・1,000台規模の立体駐車場を福岡国際会議場東側に配置 また、400台規模の駐車場をマリンメッセ福岡の東側に配置
	民間施設 需要分	・ホテル、賑わい施設等、民間施設の内容及び規模に応じた駐車場を確保 ・円滑な交通処理が可能な場所とし、公共施設用の駐車場と複合的な提案も可能
広場	・バスの乗降場、賑わいのあるシンボリックな空間の創出等に資する賑わい・交流・交通広場を建築物の配置と一体的に提案	

(4) 参加資格要件等

1) 応募者の構成

○法人、もしくは複数の法人により構成されるグループ
(グループの場合、代表法人、構成員の役割分担を明確にすること。)

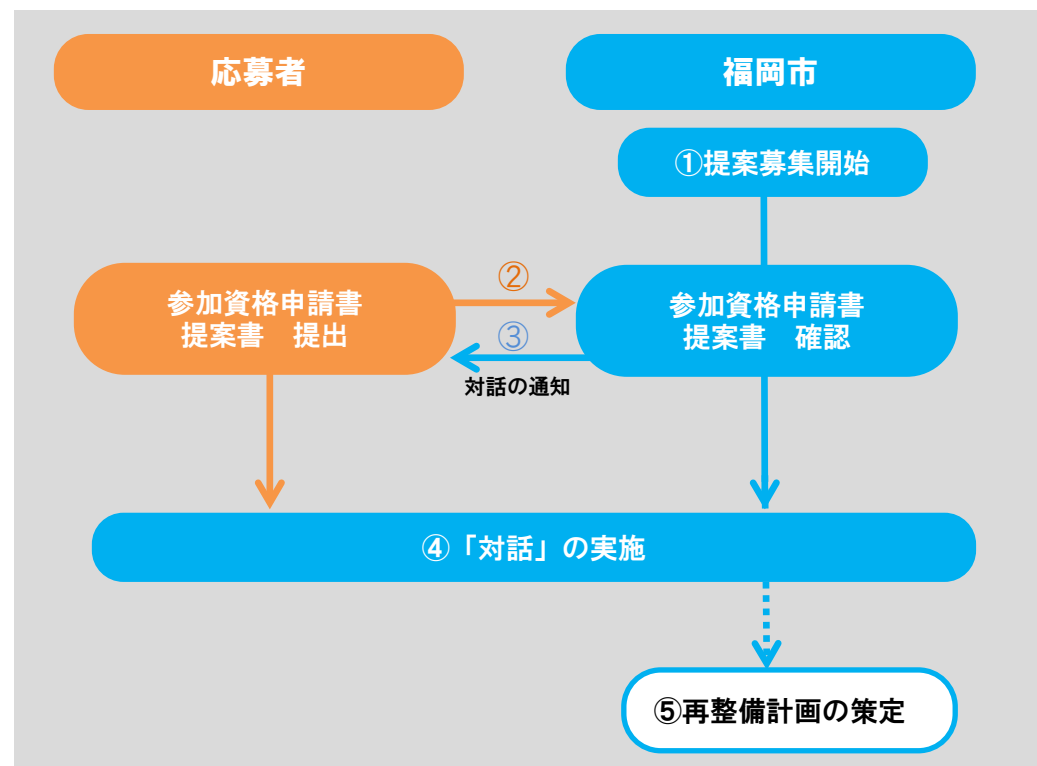
2) 応募者の資格要件等

○WF地区において、事業実施に関心がある法人で、国内外において、提案内容と同種・類似の事業を既に実施している法人 など

(5) 公募期間

- H27年3月下旬～ 公募開始
- H27年5月上旬～6月下旬 提案受付
- H27年7月下旬～ 対話開始

(6) 公募手続きの流れ



3. 今後のスケジュール (予定)

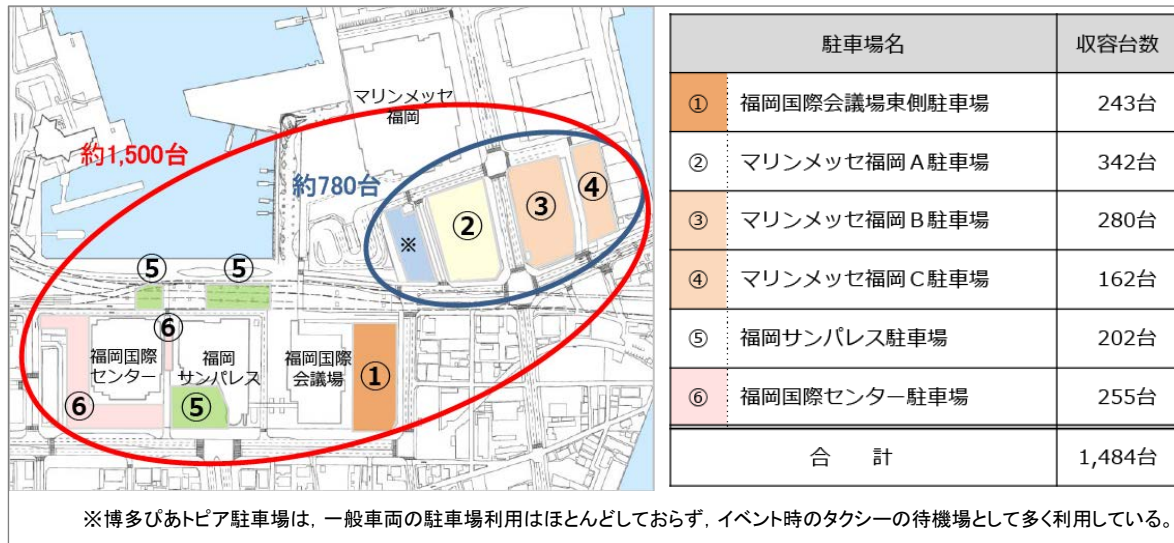
H26年度					H27年度		H28年度～	
6月	9月	12月	2月	3月	6月			
○再整備の方向性(案)	○再整備の方向性 市民意見募集	○再整備に向けた今後の進め方について	今回 ○計画提案公募の実施について	○計画提案公募開始(予定)	募集期間	○提案受付終了 提案者との対話 再整備計画の検討	○再整備計画策定	事業者公募へ移行

1. 現状と課題

(1) 地区内の混雑状況

- 流出経路が少なく、主動線がクランク状になっているため、イベント時を中心に、バス交通と一般車・タクシー交通が輻輳し、交通混雑が発生。
- 特に、コンサート閉演時は、短時間に多くの交通量が発生することや、歩行者の横断や道路路上での乗降が原因となり、著しい交通混雑が見受けられる。
- また、主要な駐車場が都市高速道路の以北のアクセスしにくい位置にあるため、入出庫時に交通混雑が起きやすい。

現状の駐車場の規模及び配置



(2) 公共交通アクセス

- コンサート等のイベント時には臨時バスのピストン運行も加えて対応しているが、WF地区内をはじめとする交通混雑の影響を受けやすく、定時性・速達性・輸送力に課題がある。

2. 交通処理方策

短期事業化区域の整備に向け、以下の方策をMICE・賑わいゾーンの整備と一体的に検討・実施予定。

(1) 地区内交通の円滑化

i 歩行者と自動車の動線分離

交通混雑の一要因である歩行者と自動車の輻輳を低減させるため、既存及び新設のコンベンション施設や賑わい施設等をデッキや施設内通路により2階レベルで歩行者動線をネットワーク化することで、歩行者と自動車の動線を分離する。

ii 公共交通専用動線の整備

イベント時の公共交通と一般交通の輻輳による交通混雑を緩和させ、バス等の公共交通の定時性・速達性を確保するため、地区内に公共交通専用動線を整備する。

iii 駐車場の適正配置

コンベンション施設を利用する一般車の地区内流入を低減させるため、エリアの縁部にあたる①国際会議場東側に約1,000台の立体駐車場を、③④マリンメッセB,C駐車場に約440台、⑥国際センターに約260台の平面駐車場を配置する。
なお、賑わい施設やホテル等の整備に伴い新たに発生する駐車需要に対しては、計画提案公募における提案内容をふまえ、駐車機能の確保を検討する。

iv 幹線道路の整備

地区内において複数の主動線を確保することで、アクセスのし易さや交通混雑の軽減を図るため、都市計画道路築港石城町線を整備する。

(2) 公共交通アクセスの強化

v 都心拠点間を結ぶ公共交通幹線軸の形成

地区内に公共交通専用動線を整備するとともに、乗降場や待機スペースの適切な配置により、公共交通の利便性の向上を図る。
また、都心拠点間における交通アクセスの強化を図るため、天神・渡辺通り地区、博多駅周辺地区、WF地区の3地区を循環するルートにおいて、バスの定時性・速達性・輸送効率向上に向けた検討を進める。

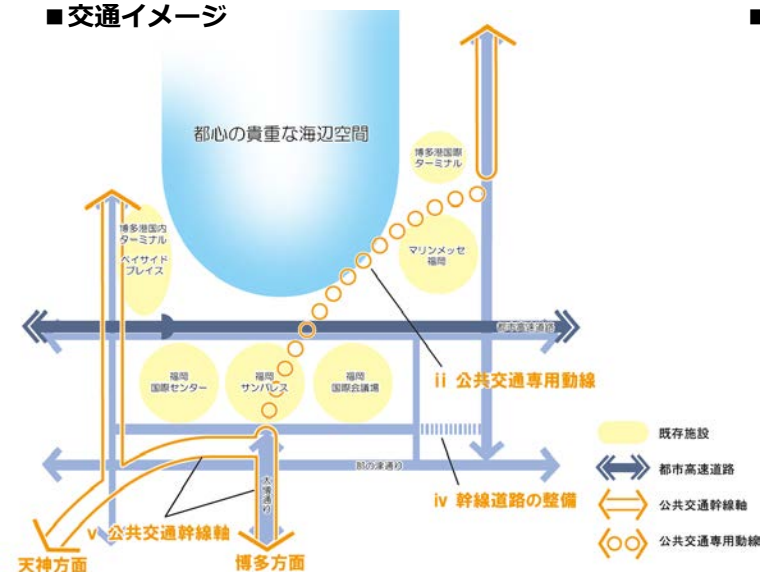
vi 都心拠点における乗り場案内の強化

WF地区行のバス乗り場を来街者にもわかりやすくするため、周辺道路や駅コンコースなどへのサイン設置やバス停案内の充実などを図る。

(3) 交通マネジメント

一般車での来場を控え、公共交通の利用を促すソフト施策について検討する。
また、一般交通にイベント交通が加わることによる交通混雑を緩和するため、コンベンションゾーンへの交通集中を分散するための道路案内表示や誘導表示などの設置を検討する。

■ 交通イメージ



■ 公共駐車場の再配置 (案)

駐車場名	収容台数
① 福岡国際会議場東側駐車場	約1,000台
③④ マリンメッセ福岡 B, C 駐車場	約440台
⑥ 福岡国際センター駐車場	約260台
合計	約1,700台